

2025 年の 5 月 21 日は「小満」です。

この時期から陽気が良くなり万物が成長して草木が茂る気候から「小満」と呼ばれています。2025 年の小満は 5 月 21 日頃で、6 月 4 日頃まで続きます。秋に蒔いた麦が穂を出す頃でもあるため、「少し満足する」という意味も込められています。

麦秋（麦の収穫の時期）とも呼ばれ麦が熟し穂を付け始める頃です。この時期には梅雨入り前の晴れた日や走り梅雨が見られることもあります。

五穀豊穡や商売繁盛を願う祭りも開催されます。

小満は、5 月下旬から 6 月初旬を指す言葉です。

梅雨に入るまでの時期であれば天候もよく行楽シーズンといえます。

山登りやハイキングなどの自然に触れ合える場所に出かけ、植物の成長や香りを楽しむのもおすすめです。

また、秋まきの植物であれば実ってくる時期でもあります。

麦などの秋まきの植物を育てている方にとっては、ほっとひと息つける時期ともいわれています。

さまざまな花が見頃を迎える時期でもあります。

①深い青紫の美しい杜若（かきつばた）があります。水辺に群生し、日本情緒たどる幻想的な風情をつくり出します。

また、杜若は万葉集にも詠まれていることから、昔から日本で自生していた花としても知られています。

②スズランも小満に見頃を迎えます。

純白で愛らしいスズランは可憐なイメージがありますが、花や根に毒が含まれているため取扱いに注意が必要です。



新茶の香 真昼の眠気 転じたり 小林一茶

こころを自由に遊ばせて子どもや小さな生き物への慈愛に満ちた句を数多く残した小林一茶。午後のけだるい眠気から、すっきり目覚めさせてくれるような、新茶のすがすがしい香りが伝わってきませんか。

お茶は年四回摘み取られます。その年の最初に摘み取られるお茶を新茶といい。一番茶であり走り茶とも言います。四月の終わりから 5 月中頃までで、香りはよく、おいしいお茶です。静岡茶や宇治茶が有名です。

